

まごころだより

2021年 4月号

もうすぐ4月になりますが、今年は桜の開花が早そうと彼方此方で咲き始めています。昨年このシーズンは自粛ムードが全国的に広がっていて、車でお出かけする事も控えるような期間でした。いつの間にか花見の期間が終わってしまいましたが、来年はきっと行けるからと根拠も無いのに利用者の方達を慰めていました。その後、何度か緊急事態宣言が発出され、屋内、屋外問わず自粛しなければならない事になり、楽しみにしていた交流がどんどん減ってしまいました。人は一人では生きていけないと言いますが、まさにその通りだと思われました。若い人達は自粛といっても自分の判断で行動がとれます。しかし、自分で移動や行動が出来ない高齢者はどうなのでしょう。普段でも他者と関わりが少なくお年寄りが大勢おられます。唯でさえ他者との会話が少ないところに家や部屋でじっとしているしかないことに人に来ておしゃべりがしたい、話を聞いて欲しいと嘆かれる方もおられます。少なくともデ



イサービスを利用されている方は他者と関わる事ができます。短い時間でも会話があり楽しく過ごせます。しかし、たまには外の景色をみたいとか、外の空気を吸いたいとか言われます。最近は暖かくなってきたので近くの公園に散歩に出かけることが出来るようになりました。僅かの時間でも自分の足で歩くことにわずかですが気晴らしになったようです。



窮屈な情勢に何もかもがどの世代もが疲れてしまって、収束に見通しが望めないことで人流が止められない状況で感染者も徐々に増えてきています。そうであっても感染を拡大させない為に、何時も個人が十分な注意を払う必要があります。気を緩めてはいけないと思います。

3月になってまごころで初めて100歳のお誕生を迎える方がおられました。近年、100歳を超える人が多くおられますが、まごころでは初めての事なのでとても嬉しく思います。この方はとてもしっかりした方で、筆書きで文字を書かれます、その様子はとてもお年とは思えないほど集中されているので驚かされます。ちょっとしたお誕生祝いで花束と祝い品をお送りしましたが、お礼の言葉に詰まってしまわれてお気持ちがとても良く伝わってきました。意外な事に感激されたのかも知れませんが、幾つになっても祝って貰えることがうれしいですね。まさしくサプライズです。これからもずっとお元気でいて下さることを願っています。

